

## マルマ語版・ミナ「私は学校がすき」

藤原敬介

帝京科学大学

主要語句：マルマ語、パラインサ方言、ミナ、テキスト

### 1 はじめに

#### 1.1 ミナとは

ミナとは、ユニセフが児童教育のために作成したアニメの題名である<sup>注1</sup>。ミナという9歳の女の子を主人公として、彼女の日常生活を中心に話が展開する。弟のラジュ、ペットのオウムであるミトゥ、両親、学校の先生などが主な登場人物である<sup>注2</sup>。話題はこどもたちをとりまく教育や差別から HIV にいたるまで、啓蒙的なものである。

1993年にバングラデシュでバングラ語版が放送されるようになったのを皮切りに、インドでヒンディー語版などが作成され、南アジア諸国（インド、バングラデシュ、パキスタン、スリランカ、ネパール、ブータン）のみならず、東南アジア諸国（ラオス、カンボジア、ベトナム）でも放送されようになった。

2021年1月現在、ミナは全37話が公開されている。漫画、アニメ、ラジオなどの主要メディアでは英語、バングラ語、ヒンディー語、ネパール語、ウルドゥー語の5言語が用意されている。さらに、南アジアのみならず、世界各地の言語にも部分的に翻訳されており、YouTubeなどでアニメを視聴することができる。

本稿であつかうのは、マルマ語 (ISO 639-3 rmz) によるミナの翻案である。マルマ語とは、バングラデシュ・チッタゴン丘陵を中心として、近隣のインド・トリプラ州などではなされるチベット・ビルマ語派ビルマ語群に属する言語である。言語としてはビルマ語アラカン方言とちかい関係にあり、相互理解もある程度可能である。しかし、標準的なビルマ語とは、相互理解が困難であるほどに異なっている。

ミナのマルマ語版については、筆者が確認できた範囲では、2021年1月2日現在第1話と第10話がYouTubeで視聴可能である。

1. 第1話: <https://www.youtube.com/watch?v=b3GrLK6YthU>
2. 第10話: <https://www.youtube.com/watch?v=-S3AYWH1ETg&t=67s>

<sup>注1</sup> 以下、ミナにかんする情報は Wikipedia の記事 ([https://en.wikipedia.org/wiki/Meena\\_\(character\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Meena_(character))) 2021年1月2日確認) や *Meena and UNICEF* (<https://www.unicef.org/bangladesh/en/meena-and-unicef>) 2021年1月2日確認) による。

<sup>注2</sup> ミナは、日本のアニメでたとえば、毒気のない「ちびまる子ちゃん」といったところであろうか。

## 1.2 資料について

本稿であつかうのは、第 10 話「私は学校がすき」のマルマ語版である<sup>注3</sup>。

クレジットタイトルから判断すると、マルマ語版はインドで作成されたものである。そして、インド在住のマルマ人が声優をつとめていると推測される。インドのマルマ人はトリプラ州に居住する人が大多数であり、マルマ語の中でもパラインサとよばれる氏族に属する。パラインサがはなすマルマ語は、筆者が長年研究してきているバングラデシュ・チッタゴン丘陵のラジヨストリ地方のマルマ語や、マルマ人の中心地であるバンドルバン周辺のマルマ語とは、相違点が散見される。ただし、相互理解が困難になるほどの相違ではない。

## 2 表記上の注意

すでにのべたように、本稿であつかうマルマ語はパラインサのマルマ語である。パラインサのマルマ語話者は、バングラデシュではカグラチョリ地方に居住する。本稿執筆にあたり、バングラデシュのマルマ語パラインサ方言話者から数時間のききとり調査をおこない、パラインサの基本的な特徴を把握するようにつとめた。しかしながら、本稿は基本的にはラジヨストリ地方出身の話者（OCN でしめす）に協力をあおぎ、かきおこしをしている。したがって、パラインサ本来の発音とは異なるかきおこしをしている箇所があるかもしれないことをおことわりしておく。

### 2.1 音素表記

本稿におけるマルマ語は筆者による音素表記である。本稿であつかうマルマ語パラインサ方言と、筆者が研究してきたマルマ語ラジヨストリ方言あるいはマルマ語バンドルバン方言とでは、個々の語彙の発音や音素配列上の制約に相違があることはあっても、基本的な音素に相違はほぼないとおもわれる。

マルマ語の音素は/p, ph, b, t, th, d, c [tɕ], ch [tɕʰ], j [dʒ], k, kh, g, ʔ\*, θ, ʃ [ç], h, m, hm, n, hn, ŋ\*, hŋ, r, l, hl, w\*\*, y\*\*; i, e, a, ɔ, o, u, ə/である。\*は末子音としてもあらわれうるものを、\*\*は子音連続の第二要素としてあらわれるものをしめす。このほか、閉音節でのみあらわれる二重母音として/ai, ou, oi/がある。声調としては高声調（鋭アクセント記号´でしめす）、低声調（アクセント記号なし）、上昇調（曲アクセント記号˘でしめす）のほか、声門閉鎖音でおわる音節にのみあらわれる促音調（アクセント記号はなく、音節末の声門閉鎖音によってしめす；音調としては上昇調である）が弁別的である。また、音素/ə/は固有の音調をもたず、常に軽声をになう。

<sup>注3</sup> 筆者は 2012 年以來、大阪大学外国語学部で「チベット・ビルマ語学演習」を担当している。授業では、加藤 [1998, 2015, 2018] をマルマ語に翻案した資料をもちいてマルマ語の初級文法を学習することがおおい。翻案した資料は藤原 [2017] として本誌第 9 号にも掲載された。2020 年度も藤原 [2017] にそって授業をしていたところ、受講生からマルマ語のアニメがネット上にあることをおしえられた。それが本稿であつかうミナの第 10 話である。この動画をのちに授業でもあつかうこととした。本稿で第 10 話をあつかう理由は、上記の事情による。

## 2.2 連声

筆者の観察によれば、マルマ語では有声交替が観察される。マルマ語における有声交替は、同一音韻語において、声門閉鎖音以外の音に後続する無声阻害音が対応する有声阻害音に交替するというものである。具体的には、 $p > b$ 、 $c > j$ 、 $t > d$ 、 $k > g$  といった有声交替が観察される。典型的には、複合語における後部要素の初頭子音や、附属語である機能語の初頭子音が有声交替をおこす。

## 3 本文と語釈

### (1) 0:00:51 タイトル

**ŋa ʔiskul =go khyɔiʔ =ti.**

I school =OBJ love =RLS

「私は学校がすき」

注 1 この部分はアニメのタイトルである。Bangla文字で表記されているものを、マルマ語として理解可能なように再解釈して音韻表記した。

注 2 ʔiskul はBangla語経由で英語の *school* が借用されたものである。

注 3 RLS の =ti は、たとえば (10) などにあるように、動画の中では実際には =te であらわれている。

### (2) 0:01:06 母

**raju, mina, ʔiθəku lá =phö ʔəkhij phrɔ̃ =bya.**

PSN PSN school go =PURP time become =PRF

「ラジュ、ミナ、学校に行く時間になったよ」

注 1 ʔiθəku は、(1) の ʔiskul と比較して、よりマルマ語化した形式である。

注 2 phrɔ̃ は、バンドルバン地方ならば phrɔiʔ と発音される。

### (3) 0:01:09 ミナ

**ʔəmɔ̃ pyaŋ, raju.↗**

very.quickly do PSN

「はやくしなさい、ラジュ」

注 ʔəmɔ̃ はバンドルバン地方では ʔəmɔ̃ と発音され、意味は「とても」である。ここでは「はやく」という意味になっている。

(4) 0:01:14 ミナ

**?iθəku ta? =phō ɲa kəgón pyɔ =re.**

school climb =NMLS.FUT I very be.happy =RLS

「学校に行くのは、私はとても楽しい」

(5) 0:01:16 ミナ

**naŋ mə- pyɔ =lɔ, mithu?↗**

you NEG- be.happy =PQ PN

「お前はうれしくないの、ミトウ」

注 *mithu* は *mithú*とも発音される。

(6) 0:01:17 ミトウ

[鳥の鳴き声] **iskul!, iskul!**

school school

「ガッコウ、ガッコウ」

(7) 0:01:21 母

**θədī =lā lá =li!**

attention =COM go =IMP

「気をつけていきなさい」

注 *=lā*はバンドルバン地方では*=nā*と発音される。

(8) 0:01:23 ミナ

**lai? =me, dɔ**

come =IRLS mother.VOC

「ってきます、お母さん」

注 1 *lai?=me* は、バンドルバン地方では *la-lai?=me* ‘come-CMPL=IRLS’ というのが普通である。

注 2 *dɔ* は *?ədɔ*ともいう。このように、接頭辞 *?ə*が脱落する現象が、本資料では散見される。

(9) 0:01:32 ミトウ

**mina, kəlā! kəlā! kəlā!**

PSN watch.IMP watch=IMP watch.IMP

「ミナ、ミテ、ミテ、ミテ!」

注 *kəlā*は *krě=lā* ‘watch=IMP’ が縮約した形式である。命令標識としての*=lā*は共同格標識の*=lā*と同様に、バンドルバン地方では*=nā*で発音される。

(10) 0:01:33 ミナ

**ŋa cwĩ =ma twɔʔ =te, mithu yáŋ +θu ʔəmeθe +wiŋ =go krě -khyŋ =re.**

I heart =LOC remember =RLS PN that +person elder.sister +house =OBJ watch -want =RLS

「私はおもいだした、ミトゥは、自分のお姉さんの家を見たいのよ」

注 *cwĩ*はバンドルバン地方では *coiʔ* と発音される。

(11) 0:01:37 ラジュ

**ʔiŋ, lá +krě -gaiʔ =me.**

yes go +watch -VPL =IRLS

「うん、いってみよう」

注 *ʔiŋ, lá, krě-gaiʔ=me* ‘yes, go, watch-VPL=IRLS’ ならば、「うん、いこう、みよう」となる。

(12) 0:01:45 ミナ

**krě, tɔiʔ, hɔɔiʔ, θúŋ, lé!**

watch one two three four

「みて、1, 2, 3, 4!」

(13) 0:01:48 ラジュ

**ŋá -lúŋ ʔũ!**

five -CL:round.object egg

「五個の卵!」

注 1 類別詞の辞順は、マルマ語では通常は「名詞 + 数詞-類別詞」である。しかし、バングラ語のように「数詞-類別詞 + 名詞」という辞順もきかれることがあり、理解される。本資料では、類例はすべて「数詞-類別詞 + 名詞」となっている。

注 2 *lúŋ* は *lóuŋ* のようにもきこえる。

注 3 *ʔũ* は *ʔouʔ* のようにもきこえる。

(14) 0:01:50 ミトゥ

**ʔiŋ↗, ŋá -lúŋ ʔũ!**

yes five -CL:round.object egg

「ウン、ゴコタマゴ!」

(15) 0:01:55 ミナ

**ʔiθəkul!**

school

「学校!」

注 「学校」がここでは *ʔiθəkul* のように、語末に *-l* をもって発音されている。

(16) 0:01:57 ミナ

**lá, ʔəθu hrī =gǎ lá -hncɔŋ =me =lé?**

go who front =ABL go -can =IRLS =CQ

「行こう、誰（どっち）が先にいけるか」

(17) 0:02:04 先生 1

**fúmɔŋ↗, ʔaləməri =gǎ ʔouʔ =ko yu -hwǎ =lǎ!**

PSN drawer =ABL book =OBJ take -VEN =IMP

「シュモン、タンスから本をとってきて!」

注 1 *fúmɔŋ* はバングラ人の人名。ミナの原作はバングラ語であるから、バングラ人の名前がつかわれている。

注 2 *ʔaləməri* はバングラ語からの借用語。もともとはポルトガル語。

注 3 *ʔouʔ* は *caʔouʔ* という方が普通である。

注 4 *-hwǎ* は、バンドルバン地方では *-khǎ* である。

(18) 0:02:10 先生 1

**ʔəbáŋʃe =rǒ naŋ =rǒ ko =ma ko ʔəra =dǒ lə -gaiʔ -li!↗**

child =PL you =PL self =LOC self place =ALL go -VPL -go.IMP

「子どもたち、あなたたちは、各自自分の場所にいきなさい」

注 1 *ko=ma ko* は、バンドルバン地方ならば *kǒ=ma ko* または *kǒ=ma kǒ* と発音される。

注 2 *lə-gaiʔ=li* は *lá-gaiʔ=li* が縮約した形式である。

(19) 0:02:14 先生 1

**ŋəñŋ ŋǒ ʔərcə puʃtikor ʔəcá =go yu =bɔ phaiʔ =phǒ.**

today we more nutritious food =OBJ take =SEQ read =FUT

「今日、私たちはさらに栄養のある食べ物について読みましょう」

注 1 *ŋǒ* は *ŋa=rǒ* ‘I=PL’ の縮約形式である。

注 2 *puʃtikor* はバングラ語からの借用語であるから、マルマ語の音節構造や音素として存在しない形式があらわれている。

(20) 0:02:20 先生 1

**mə- hɔʔ, ʔá =lǎ mə- pyaŋ =gě!**

NEG- be.right power =COM NEG- do =NEG.IMP

「ちがうわ、力をこめないで」

注 *mə-hɔʔ* はバンドルバン地方では *mə-houʔ* と発音される。

(21) 0:02:22 先生 1

**ʔəθaʔ pyaŋ, jɔŋ =de.**

slowly do like.this =EMPH

「ゆっくり、このように」

注 1 *jɔŋ* はバンドルバン地方では *yəjɔŋ* あるいは *ʔəjɔŋ* というのが普通である。

注 2 *=de* は近接するものについて語末で強調をあらわす。指示語の *de* ‘this’ と関係する。ここでは音声的には *=deij* あるいは *=diŋ* のようにもきこえる。

(22) 0:02:24 先生 1

**jɔŋhlaiʔ pyaŋ!**

like.this do

「このようになさい」

注 *jɔŋhlaiʔ* は *jɔŋ* と同義である。 *hlaiʔ* 単独の意味は不明である。

(23) 0:02:27 先生 1

**thiʔ hĩŋ =re.**

be.right exist =RLS

「いいですか」

注 この表現はベンガラ語 *thik atfe* ‘OK’ (right be) の翻訳借用である。マルマ語らしくいうならば、 *kyā=re* (fall=RLS)、 *ʔəhmaiŋ* (truth)、 *hmaiŋ=re* (be.true=RLS) などとなる。

(24) 0:02:29 先生 1

**ʔəgũ ŋa krě =re, naŋ =rō ko =ma ko cwĩ =ma twɔʔ =hŋyɔŋ puʃtikor ʔəcá =go**

now I watch =RLS you =PL self =LOC self heart =LOC appear =ESS nutritious food =OBJ

**ʔərouʔ thũ!**

shape draw

「今私は見ます、みんなが自分の思うように、栄養のある食べ物を描きなさい」

注 1 *krě=re* は、 *krě=me* ‘watch=IRLS’ あるいは *krě=ca* ‘watch=NMLS’ としたほうが自然であるようにもおもわれる。もとのベンガラ語では現在形がつかわれているところから、 *krě=re* としている可能性がある。

注 2 *ko=ma ko* は、バンドルバン地方ならば *kō=ma ko* または *kō=ma kō* と発音される。

注 3 *=hŋyɔŋ* は、バンドルバン地方ならば *=yɔŋ* と発音される。

(25) 0:02:40 女生徒 1

**bah, ʔəfä kyä =re.**

ITJ calculation fall =RLS

「よし、計算ができた (よし、きれいにできた)」

注 *bah* はベンガラ語からの借用語で、「よし」という意味である。

(26) 0:02:44 ラジュ

**yá =ca gajɔ mə- phrɔ̃ -li.**

that =NMLS carrot NEG- become -PAST

「これはニンジンにならなかった」

注 1 yáは yáy ‘that’ の変異形である。

注 2 gajɔ はバングラ語 gajɔr からの借用語である。

(27) 0:02:47 ミナ

**chəramǎ ↗ ɲǔ ʔəɔɔ prɔ̃ =re.**

teacher.FEM we mother say =RLS

「先生、私のお母さんがいいました」

(28) 0:02:48 ミナ

**ʔəcá ʔəkóŋ cá =phǔ lu +grí phrɔ̃iʔ =θá mə- lo.**

food good eat =FUT man +big become =necessity NEG- need

「よい食べ物を食べるために、金持ちになる必要はない」

注 =θáは動詞に後続して「～する必要」という意味をあらわす小辞であり、否定文での用例しか確認されていない。

(29) 0:02:51 先生 1

**naŋ =rǔ ʔəɔɔ ʔəhmaiŋ prɔ̃ =re, mina.**

you =PL mother truth say =RLS PSN

「あなたのお母さんは本当のことをいいましたね、ミナ」

(30) 0:02:54 ミナ

**chəramǎ, ʔě =ca phrɔ̃iʔ =te puʃtikor ʔəcá.**

teacher.FEM this=NMLS become =RLS nutritious food

「先生、これは栄養のある食べ物です」

注 1 文末の ʔəcáは ʔəca のようにもきこえる。

注 2 原文のバングラ語をそのまま翻訳しているので、「A は B である」というときに、コピュラに相当する部分を A と B のあいだに入れる構文をとっている。

(31) 0:02:57 シュモン

**ɲərũci!**

pepper.seed

「唐辛子!」

注 1 ɲərũciは、バンドルバン地方では ɲərouʔθíという。

注 2 ɲərũciは直訳すれば「唐辛子の種」である。しかし、ここでは「唐辛子の実」のことをさしているようである。



(32) 0:02:58 女生徒 1

**daiʔ!**

daal

「ダール」

注 *daiʔ* 「ダール」とは、ひよこ豆でつくったスープである。南アジアで愛好されている。バンドルバン地方では *däiŋ* と発音される。

(33) 0:02:59 男生徒 1

**θáŋmənéthí!**

papaya

「パパイヤ!」

注 *θáŋmənéthí* はパラインサに独特の語彙である。バンドルバン地方では *pədəgəθí* あるいは *pəgədaθí* という。

(34) 0:03:01 ミナ

**rúti!**

bread

「パン!」

注 *rúti* はバングラ語からの借用語である。通常は *ruti* と発音される。

(35) 0:03:02 先生 1

**bah, ʔəhlă ʔəgũ naŋ =rö...**

ITJ beautiful now you =PL

「はい、きれいですね、君たちは...」

(36) 0:03:04 生徒 2

**ʔě =ca ŋá!**

this =NMLS fish

「これは魚!」

注 *ʔě* に後続する *=ca* は、本来的には名詞化標識であるけれども、機能的には定辞のようになっている。

(37) 0:03:06 生徒 3

**ʔəhmóŋ!**

rice

「ご飯!」

(38) 0:03:07 生徒 4

**hnaʔpəθí!**

banana

「バナナ!」

注 *hnaʔpəθí* は、バンドルバン地方では *nəpyúθí* という。

(39) 0:03:08 生徒 5

**ʔəɾə ŋǎ =ma tə- khǔ phəruŋθí, hahaha...**

more I.OBL =LOC one- CL:thing pumpkin —

「さらにぼくのところには一個かぼちゃ、ははは」

(40) 0:03:11 ミトウ

**phəruŋθí! phəruŋθí! phəruŋθí!**

pumpkin pumpkin pumpkin

「カボチャ! カボチャ! カボチャ!」

(41) 0:03:14 先生 1

**phrǒ =bya, phrǒ =bya, ʔəɾə mə- hó =gě!**

become =PRF become =PRF more NEG- shout =NEG.IMP

「できた、できた、もううるさくしないで」

注 1 *phrǒ* は、バンドルバン地方では *phrɔiʔ* という。

注 2 *mə-hó=gě* は、OCN によると *mə-hɔiʔ=kě* とのことである。

(42) 0:03:16 ミナ

**chəramǎ, ʔě =ca =go =lé ŋǒ hnaʔphraɪŋ pyaŋ =phǒʔ?**

teacher.FEM this=NMLS =OBJ =too we tomorrow do =FUT

「先生、これを私たちは明日もするのですか」

注 *pyaŋ=phǒʔ* は、*pyaŋ=phǒ=lǒʔ* というのが丁寧である。しかし、ここではイントネーションだけで疑問文にしている。

(43) 0:03:20 先生 1

**mə- houʔ, yá =ca =go prǒ =phǒ pyaŋ =ca.**

NEG be.right that =NMLS =OBJ say =FUT do =NMLS

「いいえ、そのことをいおうとしていたのです」

(44) 0:03:23 先生 1

**ŋa hnaʔphraɪŋ hǐŋ mə- houʔ.**

I tomorrow exist NEG be.right

「私は明日いません」

注 *hǐŋ mə-houʔ* は *hǐŋ=phǒ mə-houʔ* の *=phǒ* が省略されたものである。

(45) 0:03:24 先生 1

**lɔiŋ -khale =kijũ ʔəlouʔ θaŋ =jɔŋ lá =re.**

some -CL:week =for work(n.) learn =PURP go =RLS

「数週間、仕事を学びにでかけます (しばらく研修にいきます)」

注 *lɔiŋ-khale* は、バンドルバン地方では *lɔiŋgə-khale* である。

(46) 0:03:27 先生 1

**ŋa mə- laiʔ =θəgrá naŋ =rɔ̃ =go ʔəɾɔ tə- yɔʔ chəramă pră =me.**

I NEG- come =until you =PL =OBJ more one- CL:man teacher.FEM show =IRLS

「私がこないまで、君たちをさらにもう一人の先生がおしえます」

注 *pră* の原義は「見せる」であるけれども、ここでは「おしえる」という意味である。

(47) 0:03:31 先生 1

**ŋa θi =re, naŋ =rɔ̃ =ca taiʔ =te.**

I know =RLS you =PL =NMLS be.able.to.do =RLS

「私は知ってます、君たちは (勉強が) できる」

注 名詞句に後続する *=ca* は、本来的には名詞化標識であるけれども、機能的には定辞のようになっている。

(48) 0:03:33 先生 1

**ʔəθɔiʔ chəramă =go yá =ca pră.**

new teacher.FEM =OBJ that =NMLS show

「あたらしい先生に、そのこと (勉強ができるということ) を見せなさい」

注 形容詞的な語は、名詞を前から修飾しても後から修飾してもよい。ただし、本資料では、原文のバングラ語の影響があるせいか、前から修飾する例ばかりである。

(49) 0:03:41 ミナ

**krě, hɔciʔ -kɔŋ θá pɔʔ =re, mithu mamu.↗**

watch two -CL:animal son hatch(vi) =RLS PN uncle

「見て、二羽生まれた、ミトゥがおじさんだ」

注 1 マルマ語話者によると、声門閉鎖音のあとでは *=te* があらわれるのが通則であるけれども、*=re* があらわれることもあるとのことである。

注 2 筆者は *pɔʔ-li=re* (hatch(vi)-PAST=RLS) から *-li* が脱落した残滓として *=re* があらわれているのではないかとかんがえた。しかし、マルマ語話者によると、その可能性はないという。

注 3 *mamu* はバングラ語からの借用語である。

(50) 0:03:44 ラジュ

**hǰ, krě =phǒ, mǎ- hlǎ.**

ITJ watch =FUT NEG- be.beautiful

「ああ、見てもかわいくないなあ」

注 *hǰ*は成節的鼻音である。間投詞であり、音素とはかんがえない。

(51) 0:03:47 ミトゥ

**wai?!**

ITJ

「ウエイッ!」

注 これは鳥の鳴き声であり、怒っている様子をあわす。

(52) 0:03:49 ミナ

**mraŋ =lǒ, yǎŋ +θu ʔəmǰ θī =re, yǎŋ +θu =kǰǰ ja cá kǰŋ =lé?**

see =PQ that +person mother know =RLS that +person =for what food be.good =CQ

「見て、彼のお母さんは知っている、彼のためにどの食べ物がよいか」

注 1 *ʔəmǰ* は、バンドルバン地方では *ʔəmǰ* となる。

注 2 *θu* は、単独で使用されるとき、所有をあらわすばあいには *θū*と変調するのが通則である。しかし、*yǎŋ+θu ʔəmǰ* においては変調しない。もしも *yǎŋ* がなかったとしたら、変調する。

注 3 *ja cá kǰŋ=lé?*は、*ja ʔacá kǰŋ=re=lé?*が省略されたいいかたである。

(53) 0:03:54 ミナ

**ləlai? raju↗, ɡəniŋ kra -hɔŋ mǎ- hɔ?.**

come.IMP PSN today be.late -can NEG- be.right

「来なさい、ラジュ、今日は遅刻できない」

注 1 *ɡəniŋ* は、*ŋəniŋ* の変異形である。

注 2 *kra-hɔŋ mǎ-hɔ?* は *kra-hɔŋ=phǒ mǎ-hɔ?* が省略されたいいかたである。

注 3 *mǎ-hɔ?* は、バンドルバン地方では *mǎ-hou?* となる。

(54) 0:03:57 ミナ

**ɡəniŋ ʔəθɔi? çəramǎ.**

today new teacher.FEM

「今日はあたらしい先生よ」

(55) 0:04:04 ミナ

**ʔóho, raju, ɡəniŋ kra =me =bya.**

ITJ PSN today be.late =IRLS =PRF

「ああ、ラジュ、今日は遅刻してしまう」

(56) 0:04:10 先生 2

**naŋ =rõ məjɔŋ hiŋ =lé, kuŋθu?**

you =PL how exist =CQ everybody

「お前たちみんなどうですか」

(57) 0:04:11 先生 2

**ŋa naŋ =rõ =ma ʔəθõ másətəmă.**

I you =PL =LOC new teacher.FEM

「私は、お前たちにとってあたらしい先生です」

注 1 *másətəmă* はベンガラ語 *maftar* に女性接尾辞 *mă* がついたものである。

注 2 *ʔəθõ* は *ʔəθoiʔ* の変異形である。

(58) 0:04:14 先生 2

**ŋă =go medam khɔ!**

I.OBL =OBJ madame call

「私をマダムと呼びなさい」

注 *medam* は英語からの借用語であり、語末に *-m* があらわれている。バンドルバン地方での発音は *medánj* である。なお、南アジアでは一般に目上の女性に対して「マダム」とよぶ。

(59) 0:04:16 先生 2

**naŋ =rõ ja =hlɔ? kra =lé?**

you =PL what =approximately be.late =CQ

「お前たちはどれだけ遅れた?」

(60) 0:04:17 先生 2

**lá -li, yá =de thɔiŋ -khi!**

go -go.IMP that =EMPH.this sit -go.and.return

「行って、あっちに座ってなさい」

注 1 *yá* は *yáj* の変異形である。

注 2 *=de* はこの方言では指示詞に後続するとき、場所格のように機能する。

(61) 0:04:18 ミナ

**chəramă, ŋa =rõ...**

teacher.FEM I =PL

「先生、私たち...」

(62) 0:04:19 先生 2

**dwíŋ nwiŋ!**

quietly stay

「静かにしてなさい」

注 1 バンドルバン方言では動詞としては *tíŋ* であり、重複副詞形としては *tədíŋ niŋ!* (quietly stay) という。つまり、*dwíŋ* という形式は副詞であり、本来は語頭音重複があった残滓として、語頭で有声阻害音があらわれているとかんがえられる。

注 2 *nwiŋ* は、バンドルバン地方では *niŋ* のように発音される。

(63) 0:04:21 先生 2

**thoiŋ!**

sit

「座りなさい!」

(64) 0:04:24 先生 2

**ŋa lai? =te, naŋ =rǒ =go prǎ =phǒ.**

I come =RLS you =PL =OBJ show =PURP

「私がきたのは、お前たちに見せる (教える) ためです」

(65) 0:04:26 先生 2

**naŋ =rǒ ná+thoŋ -gai?!**

you =PL listen -VPL

「お前たちはよく聞きなさい」

(66) 0:04:28 先生 2

**naŋ =rǒ cwǐ khyǎ =bǒ ná+thoŋ!**

you =PL heart make.fall =SEQ listen

「お前たちは、心して聞きなさい」

(67) 0:04:30 先生 2

**yǎhlo? =mǎge tai? =me.**

that.much =COND be.able.to.do =IRLS

「それくらいしたら、できるだろう」

注 *=mǎge* はおそらく *=ma=ge* (=LOC=COND) と分析できる。しかし、場所格に条件標識がつくのは破格である。全体としては *yǎhlo?=ma cho=ge* (that.much=LOC say=COND) 「そのくらいというなら」が縮約した形式と解釈できるかもしれない。

(68) 0:04:31 先生 2

**ŋǎ =ma ʔě ʔəhlǎ kyíhŋaʔ!**

I.OBL =LOC this beautiful parrot

「私のところにこれほどきれいなオウム!」

(69) 0:04:35 赤いオウム

鳥の鳴き声

(70) 0:04:39 ミトゥ

**ʔəhlǎ kyíhŋaʔ!**

beautiful parrot

「キレイなオウム!」

(71) 0:04:41 先生 2

**ʔeʔ, toiʔ!**

ITJ shut.up

「えー、黙りなさい!」

注 *toiʔ* は、ほとんど *tuiʔ* のように聞こえる。

(72) 0:04:44 先生 2

**gəniŋ ŋə =rǒ ʔəkunθu puʔtikor chapter θaŋ =phǒ.**

today I =PL everybody nutritious chapter learn =FUT

「今日、私たちはみんな栄養の分類を学びます」

注 1 *puʔtikor* は「栄養がある」という意味のバングラ語である。

注 2 *chapter* は英語であるけれども、このアニメのもとになったバングラ語版では *bibhag* ‘division’ である。そこで「分類」と訳した。

(73) 0:04:49 赤いオウム

**puʔtikor ʔəcá =go yu =bɔ θaŋ =phǒ.**

nutritious food =OBJ take =SEQ learn =FUT

「エイヨウアルタベモノヲマナボウ」

(74) 0:04:50 先生 2

**chapter ŋá -khǔ hǐŋ =re.**

chapter five -CL:thing exist =RLS

「5 分類あります」

(75) 0:04:53 赤いオウム

**ŋá -khǔ khwé =bɔ hǐŋ =re.**

five -CL:thing divide =SEQ exist =RLS

「イツツニワカレテアル」

(76) 0:04:57 先生 2

**naŋ =rõ kuŋθu ŋa =lã pró!**

you =PL everybody I =COM say

「お前たち全員、私と一緒に言いなさい」

注 *kuŋθu* は *ʔəkuŋθu* ともいう。

(77) 0:04:58 先生 2

**bitamiŋ**↗.

vitamin

「ビタミン」

(78) 0:05:01 生徒

**bitamiŋ**↗.

vitamin

「ビタミン」

(79) 0:05:02 先生 2

**ʔəphaŋ.**

astringent

「渋いもの」

注 バングラ語版では「タンパク質」といっている。

(80) 0:05:03 生徒

**ʔəphaŋ.**

astringent

「渋いもの」

(81) 0:05:04 先生 2

**ʔəkhyaŋ**

sour

「すっぱいもの」

注 バングラ語版では「炭水化物」といっている。

(82) 0:05:05 生徒

**ʔə. ʔə.. ʔə.. ʔə... ʔəkhyaŋ...**

s. s.. s... sour

「す、す、す、... すっぱいもの」



(83) 0:05:09 ミトウ

**ʔəkhyɔŋʌ!**

sour

「スパイモノ!」

(84) 0:05:10 先生 2

**ʔoiʔ, dwiŋ nwiŋ, toiʔ -nwiŋ!**

ITJ quietly stay shut.up -CONT

「ええい、お黙りなさい、お黙り!」

注 (62) の注を参照。

(85) 0:05:11 先生 2

**cəgá mə- prɔ =gě!**

language NEG- say =NEG.IMP

「しゃべるな!」

(86) 0:05:14 先生 2

**ʔeʌ, yɔʔkəfe!**

ITJ little.boy

「おい、少年!」

注 *yɔʔkəfe* は、本来は *yɔʔkyáfe* とすべきである。おそらくバングラ文字で *-ky-* とかかれたものを、バングラ語のように発音したために重子音になっているほか、後続する母音も軽声化している。

(87) 0:05:15 先生 2

**thu =ca dō yu =bo laiʔ!**

that =NMLS this.side take =SEQ come

「それを、こっちにもってこい!」

注 *dō* は、本来は *də=dō* (this-ALL) というべきである。

(88) 0:05:20 先生 2

**ʔəgũ ʔě =ca ʔáləməri =mə!**

now this=NMLS drawer =LOC

「今、こいつは、タンスの中!」

注 *ʔáləməri* は *ʔaləməri* と発音されるのが普通である。

(89) 0:05:24 ミナ

**medam, chəramă, ʔaləməri =go təge ʔəθe hloiʔ -ră =phǒ.**

madame teacher.FEM drawer =OBJ bit slowly open -must =FUT

「先生、タンスはすこしゆっくりあけるべきです」

(90) 0:05:27 先生 2

**də =hlɔʔ tə- khũ ʔəgrí!**

this =this.much one- CL:thing big

「なんて大口を!」

注 ʔəgríは ʔəgrí cəgá (big language) が省略されたいいかたである。

(91) 0:05:29 先生 2

**ŋǎ =go θaŋ =re ʔaləməri hlɔiʔ =phǒ, hm!**

I.OBL =OBJ teach =RLS drawer open =FUT ITJ

「私に教えるなんて、タンスを開けるように、フン!」

(92) 0:05:35 先生 2

**ná+thɔŋ məməǎfe, ŋa θĩ =phǒ =me, naʔ =ko míŋ =me.**

listen little.girl I know =FUT =COND you.OBL.FEM =OBJ ask =IRLS

「きけ、こむすめ、知る必要があれば、お前にきくよ」

注 =me (=COND) は =məge (=COND) の縮約形式である。バンドルバン地方では cho=ge (say=COND) という。

(93) 0:05:39 先生 2

**hʔ, rwa =ma phrɔ!**

ITJ village =LOC become

「くそ!」

注 文字どおりには「村で生じる」という意味であるけれども、怒りをあらわす慣用表現である。

(94) 0:05:44 先生 2

**ŋə =rǒ gũ phaiʔ =cɔŋ rǎ =phǒ.**

I =PL now read =for.the.sake.of must =FUT

「ではこれから勉強しましょう」

注 gũは接頭辞がついた ʔəgũが普通である。

(95) 0:05:46 先生 2

**ŋaiŋ =me.**

be.salty =IRLS

「塩辛い」

(96) 0:05:47 生徒

**ŋaiŋ =me.**

be.salty =IRLS

「塩辛い」

(97) 0:05:49 先生 2

**?əchi.**

fat

「脂肪」

(98) 0:05:49 生徒

**?əchi.**

fat

「脂肪」

(99) 0:05:53 先生 2

**wiŋ =ma niŋdɔŋ lo =re.**

house =LOC every.day be.necessary =RLS

「家で毎日必要だ」

(100) 0:05:55 生徒

**wiŋ =ma niŋdɔŋ lo =re.**

house =LOC every.day be.necessary =RLS

「家で毎日必要だ」

(101) 0:06:08 父

**?əca phrɔi? =lé, mina?**

what become =CQ PSN

「どうした、ミナ」

注 ?əca は、*ja* の変異形である。

(102) 0:06:10 ラジュ

**yáj +θu =go ?əθɔi? chəramã ché =re.**

that +person =OBJ new teacher.FEM scold =RLS

「ミナをあたらしい先生が叱ったよ」

(103) 0:06:12 ミナ

**mə- hou?, ŋa tə- khũ =baŋ mə- nále -li.**

NEG be.right I one- CL:thing =EMPH NEG- understand -PAST

「いいえ、私は何も理解できなかった」

注 =baŋ は否定でよくつかわれる強調の小辞である。

(104) 0:06:15 ミナ

**chəramă ɲǒ =go ʔəca pró =lé?**

teacher.FEM we =OBJ what say =CQ

「先生が私たちに何をいったか」

注 1 ɲǒは ɲa=rǒ ‘I=PL’ の縮約形式である。

注 2 próがややながく聞こえるのは、本来は=re があったからではないかとおもわれる。

(105) 0:06:18 ミトゥ

**ɲaiŋ =me, ʔəchi, ʔəkhɔiŋ, ɲaiŋ =me, ʔəchi, ʔəkhɔiŋ.**

be.salty =IRLS fat sour be.salty =IRLS fat sour

「シオカライ、シボウ、スッパイ、シオカライ、シボウ、スッパイ」

(106) 0:06:34 ミトゥ

**mina, raju, laiʔ, krě!**

PSN PSN come watch

「ミナ、ラジュ、コイ、ミロ!」

(107) 0:06:38 ミナ

**mə- houʔ mithu, gəniŋ mə- houʔ.**

NEG be.right PN today NEG be.right

「いいえ、ミトゥ、今日はしない」

(108) 0:06:41 ミナ

**kra =me mə- houʔ.**

be.late =IRLS NEG be.right

「おくれるわけにはいかない」

注 *kra-hnɔiŋ=me mə-houʔ* (be.late-can=IRLS NEG-be.right) というほうが丁寧である。

(109) 0:06:53 先生 2

**ń, ń, [せきばらい] cwĩ =ma twɔʔ =te, gəniŋ naŋ =rǒ ʔəɾɔ cwĩ khyă =bɔ**

ITJ heart =LOC remember =RLS today you =PL more heart let.fall =SEQ

**ná+thɔŋ =me.**

listen =FUT

「んんん、あんたたちは、今日は、もっと集中してきくだろう」

注 1 *cwĩ*は、バンドルバン地方では *coiʔ* である。

注 2 *cwĩ=ma twɔʔ=te* は「～であることをのぞむ」という慣用表現である。

*mai1* vs *me1* hortative vs fut; *me* がただしいようだ

(110) 0:06:58 先生 2

**ʔəgũ ŋə =rõ phaiʔ =phõ.**

now I =PL read =FUT

「今、私たちは読みましょう」

(111) 0:07:02 先生 2

**ń, ń, nm, wəbwáɪŋ.**

ITJ bamboo.lever

「ン、ン、シー、ウブワイン」

注 *wəbwáɪŋ* とは「竹製の梃子（てこ）」のことである。ただし、生徒たちには理解できないので「ウブワイン」と訳すことにする。なお、この単語はバンドルバン地方では *wəbóɪŋ* と発音される。分析的には *wá* 「竹」と *ʔəpɔɪŋ* 「断片」からなる複合語である。

(112) 0:07:07 鳥

**wəbwáɪŋ yu =bɔ, phaiʔ =phõ.**

bamboo.lever take =SEQ read =FUT

「ウブワイン、マナブ」

(113) 0:07:08 ミナ

**medam chəramă, wəbwáɪŋ ʔəca =léʔ**

madame teacher.FEM bamboo.lever what =CQ

「先生、ウブワインは何ですか」

(114) 0:07:11 先生 2

**ʔé, məmăʃe, tə- khũ =baŋ mə- míŋ =gě!**

ITJ little.girl one- CL:thing =EMPH NEG- ask =NEG.IMP

「エーイ、小娘、何も質問するな!」

(115) 0:07:13 先生 2

**ń, ń [せきばらい] judú pró!**

ITJ only say

「ただ言いなさい!」

注 *judú* はバングラ語からの借用語である。

(116) 0:07:18 先生 2

**wəbwáɪŋ tə- khũ pəbrɔŋ waiŋ.**

bamboo.lever one- CL:thing straight tool

「ウブワインは、一つのまっすぐな道具です」

(117) 0:07:22 生徒

**wəbwaɪŋ tə- khũ pəbrɔŋ waɪŋ.**

bamboo.lever one- CL:thing straight tool

「ウブワインは、一つのまっすぐな道具です」

(118) 0:07:24 先生 2

**?ě =ca ?əlɪ waɪŋ ŋaŋ =phõ lo =re.**

this =NMLS heavy tool pull =PURP be.necessary =RLS

「それは、重いものを持ちあげるのに必要です」

(119) 0:07:26 生徒

**?ě =ca ?əlɪ waɪŋ ŋaŋ =phõ lo =re.**

this =NMLS heavy tool pull =PURP be.necessary =RLS

「それは、重いものを持ちあげるのに必要です」

(120) 0:07:29 先生 2

**?ě =ca kəgyáɪŋ =lǎ =bɔ lu? =ca.**

this =NMLS hard =COM =SEQ make =NMLS

「それは、硬いものでつくったものです」

注 1 =bɔ は、動詞以外の要素にも後続しうる。

注 2 lu? は、バンドルバン地方では lou? である。

(121) 0:07:32 ミナ

**?ě =ca ŋõ bwe mə- hou?.**

this =NMLS we book NEG be.right

「これは私たちの教科書じゃない」

(122) 0:07:33 ミナ

**cwĩ =ma twɔ? =te, ?ě =ca ŋá daiŋ bwe.**

heart =LOC remember =RLS this =NMLS five class book

「これは五年生の本だと思う」

注 ŋá daiŋ は、本来は ŋá dáɪŋ というべきである。

(123) 0:07:35 先生 2

**?e, məməʃe, ʃai?ʃai? mə- prɔ =gě!**

ITJ little.girl in.whispers NEG- say =NEG.IMP

「おい、小娘、ひそひそ言うな!」

(124) 0:07:39 先生 2

**raiʔ!**

stand

「立て!」

(125) 0:07:40 先生 2

**pəbrɔ̃ŋ pyaŋ =bɔ prɔ!**

straight do =SEQ say

「簡潔に言いなさい!」

(126) 0:07:42 ミナ

**?a., medam chəramã, cwĩ =ma twɔʔ =te, ?ě =ca ŋá daiŋ bwe.**

ITJ madame teacher.FEM heart =LOC remember =RLS this =NMLS five class book

「あー、先生、それは五年生の教科書だと思います」

(127) 0:07:47 先生 2

**ŋá daiŋ boi?**

five class book

「五年生の教科書だって?」

注 1 *boi* はバングラ語からの借用語である。

注 2 (126) では *ŋá daiŋ* であったけれども、ここでは *ŋá daiŋ* とただしくいつている。

(128) 0:07:49 先生 2

**douʔkhwã, naʔ =ko yu =bɔ mə- phrɔ̃ =bya.**

unhappiness you.OBL.FEM =OBJ take =SEQ NEG- become =PRF

「わるいけど、お前とはもうできない」

(129) 0:07:54 先生 2

**thwɔʔ -li!**

go.outside -go.IMP

「でていけ」

(130) 0:07:55 先生 2

**praŋ =gã raiʔ -khi!**

place.outside =ABL stand -go.and.return

「外で立ってろ」

注 *praŋ=gã* は *praŋ=ma* (place.outside=LOC) と同義である。

(131) 0:07:55 ミナ

**ye =məge, medam...**

this =COND madame

「それなら、先生...」

(132) 0:07:56 先生 2

**thwə? -li!**

go.outside -go.IMP

「でていけ!」

(133) 0:08:01 先生 2

[せきばらい] **pró!**

say

「言いなさい!」

(134) 0:08:05 先生 2

**wəbwáɪŋ tə- khǔ pəbrɔŋ waiŋ.**

bamboo.lever one- CL:thing straight tool

「ウブワインは、一つのまっすぐな道具です」

(135) 0:08:08 生徒

**wəbwáɪŋ tə- khǔ pəbrɔŋ waiŋ.**

bamboo.lever one- CL:thing straight tool

「ウブワインは、一つのまっすぐな道具です」

(136) 0:08:11 先生 2

**?ě =ca ?əlí waiŋ ŋaŋ =phǒ lo =re.**

this =NMLS heavy tool pull =FUT be.necessary =RLS

「それは、重いものを持ちあげるのに必要です」

(137) 0:08:14 生徒

**?ě =ca ?əlí waiŋ ŋaŋ =phǒ lo =re.**

this =NMLS heavy tool pull =FUT be.necessary =RLS

「それは、重いものを持ちあげるのに必要です」

(138) 0:08:28 母

**ca phrɔ̃ =lé, mina.**

what become =CQ PSN

「どうしたの、ミナ」

注 ca は ?əca から接頭辞が消失した形式である。



(139) 0:08:31 ラジュ

**yáŋ +θu =go chəramă ca +phai? =ca tɔi? =kă =bɔ lɔi? thou? +lɔi?**  
 that +person =OBJ teacher.FEM letter +read =NMLS room =ABL =SEQ chase bring.out +chase  
 =te.

=RLS

「ミナを先生が教室から追い出したよ」

注 *lɔi? thou?+lɔi?=te* は *lɔi?=phǒ thou?+lɔi?=te* (chase=PURP bring.out+chase=RLS) が本来の形式であったとおもわれる。=*phǒ*を発音しない代償として、直前の *lɔi?* がややながく発音されている。

(140) 0:08:34 タラ

**mə- hou? mina, coi? mə- chó =gě!**

NEG be.right PSN heart NEG- be.bad =NEG.IMP

「いいえ、ミナ、気を悪くしないで」

(141) 0:08:37 ミナ

**krě =me =ye, tarame.**

watch =HRT =SFP PSN.FEM

「見てよ、タラ姉さん」

注 *krě=me=ye* は、バンドルバン地方では *krě=mai=ye* (watch=HRT=SFP) という。

(142) 0:08:38 ミナ

**?əθɔi? chəramă ca prɔ =lé ŋa tə- khǔ =baŋ mə- nále -li.**

new teacher.FEM what say =CQ I one- CL:thing =EMPH NEG- understand -PAST

「あたらしい先生が何を言ったか、私は何もわからなかったの」

注 *prɔ*がややながくきこえるのは、本来あるはずの=*re*が発音されていないせいではないかとおもわれる。

(143) 0:08:42 ミナ

**ŋə =rǔ wəbwáŋ =go yu =bɔ θaŋ -ră =re.**

I =PL bamboo.lever =OBJ take =SEQ learn -must =RLS

「私たちはウブワインについて勉強しないといけなかった」

(144) 0:08:45 ミナ

**wəbwáŋ ?əca =lé, ŋa mə- nále.**

bamboo.lever what =CQ I NEG- understand

「ウブワインというのが何なのか、私はわからなかった」

(145) 0:08:48 ミナ

**ŋa ʔəɔ ʔiθəku mə- taʔ -khyəŋ =bya.**

I more school NEG- climb -want =PRF

「私はもう学校にいきたくなくなった」

(146) 0:08:51 ミトウ

**ʔəcaʔ**

what

「ナニ?」

(147) 0:08:54 タラ

**ŋa θi =re, nəŋ məjə twi =re =lé?**

I know =RLS you how feel =RLS =CQ

「私はわかるわ、あなたがどのように感じたか」

注 *məjə* は *məjəŋ* あるいは *bəjəŋ* ともいう。

(148) 0:08:57 タラ

**ye məgə =lé ʔiθəku mə- phrũ =gě!**

this COND =too school NEG- throw.away =NEG.IMP

「だけど、学校を捨てたらいけないわ」

注 1 *məgə* は *məge* が縮約した形式である。

注 2 *phrũ* は、バンドルバン地方ならば *phrouʔ* のように発音される。

(149) 0:09:00 タラ

**naʔ chəramă =lé =gá le -hnciŋ =re.**

you.OBL.FEM teacher.FEM =too =TOP change(vi) -can =RLS

「あなたの先生もかわるかもしれない」

注 *le* は、バンドルバン地方ならば *hle* のように発音される。

(150) 0:09:02 タラ

**n... wəbwáŋ, ʔɔʔ, twɔʔ -ră =re.**

ITJ bamboo.lever ITJ remember -can =RLS

「んー、ウブワイン、あー、思い出した」

(151) 0:09:06 タラ

**ŋa ŋá dáŋ =kha phaiʔ -hă =ca.**

I five class =time read -VEN =NMLS

「私は五年生の時に勉強したの」

注 *-hă* は、バンドルバン地方では *-khă* である。

(152) 0:09:09 タラ

**laiʔ, ŋa naʔ =ko prǎ =me.**

come I you.OBL.FEM =OBJ show =IRLS

「きなさい、私があなたに見せてあげるわ」

(153) 0:09:11 タラ

**θī =lɔ, minaʔ**

know =PQ PSN

「知ってる、ミナ?」

(154) 0:09:12 タラ

**pɔʔcũ =ma ʔəcaiʔcaiʔ ʔəlouʔ =ma lu =rǔ ʔě =ca =go ʔəra wəŋ =re.**

village =LOC various work(n.) =LOC people =PL this =NMLS =OBJ place enter =RLS

「村でいろいろな仕事で人々が使うの」

注 1 *pɔʔcũ* はパラインサ特有の語彙である。バンドルバン地方では *rwa* という。

注 2 *ʔəra wəŋ* は「有用である・役に立つ」という慣用表現である。ただし、文の主語と述語がかみあわない。原文をそのまま訳すならば「村でいろいろな仕事で、それを人々は役に立つ」となる。*lu=rǔ ʔě=ca=go θúŋ=re* (people=PL this=NMLS=OBJ use=RLS) あるいは、*lu=rǔ=ʔətwɔʔ ʔě=ca=gá ʔəra wəŋ=re* (people=PL=for this=NMLS=TOP place enter=RLS) といえる。

(155) 0:09:21 タラ

**krě, məŋŋ pyaŋ =bɔ ŋǎ məŋ wəbwáŋ =lǎ =bɔ θəpaŋráŋ phɔ =re.**

watch how do =SEQ I.OBL brother bamboo.lever =COM =SEQ tree.root pull.out =RLS

「ご覧、どのようにして、私の兄さんがウブワインで切り株をひっぱりですか」

注 1 *θəpaŋráŋ* < *θoiʔ* ‘tree’ + *ʔəpaŋ* ‘tree’ + *ʔəráŋ* である。

注 2 *məŋ* は、対応するビルマ語では、女性からみた弟である。しかしマルマ語では、女性からみた兄に対しても弟に対しても使用できる。

(156) 0:09:27 タラ

**krě, tháŋbóŋ +ʔəhre =lǎ məŋŋ pyaŋ =bɔ, kífə =thaʔ =kǎ =bɔ taŋ =bɔ**

watch firewood.piece +long =COM how do =SEQ ? =place.above =ABL =SEQ put =SEQ

**ʔəpaŋráŋ =ma kaiŋ =bɔ, tháŋbóŋ ʔəɔ tə- raiʔ =kǎ =bɔ hmiʔ =pɔ taŋ**

tree.root =LOC prop(v) =SEQ firewood.piece more one- CL:place =ABL =SEQ press =SEQ put

**=bɔ.**

=SEQ

「ご覧、長い薪でどのようにして、小さい木の上においてつかい棒にして、薪をさらにもう一方から下に押さえつけて、ひっばるの」

注 *kífə* は、おそらく「つかい棒」という意味である。

(157) 0:09:36 タラ

**mraŋ =lɔ, ʔě =ca =ʔi wəbwáɪŋ!**

see =PQ this =NMLS =EMPH bamboo.lever

「わかる、これがウブワインよ」

注 ʔě=ca=ʔi の=ʔi はバングラ語で強調をあらわす助詞が借用されたものである。

(158) 0:09:39 タラの兄

**ləlaiʔ, ŋǎ =go ku -khəlaiʔ, mina!**

come.IMP I.OBL =OBJ help -VEN.CMPL PSN

「きなさい、俺をてつだってよ、ミナ」

(159) 0:09:42 ミトウ

**wəbwáɪŋ!**

bamboo.lever

「ウブワイン!」

(160) 0:09:46 ミナ

**krě, mithu, wəbwáɪŋ =lǎ taŋ bəjɔŋ pəbrɔŋ!**

watch PN bamboo.lever =COM put how straight

「みて、ミトウ、ウブワインでもちあげるのは、なんて簡単なの!」

(161) 0:09:52 ミトウ

**laiʔ! wəbwáɪŋ! wəbwáɪŋ!**

come bamboo.lever bamboo.lever

「コイ! ウブワイン! ウブワイン!」

(162) 0:09:57 ミナ

**ʔo, ʔəgũ =ra nále =re.**

ITJ now =EMPH understand =RLS

「おー、今やっとわかった」

(163) 0:09:59 ミナ

**tarame, naŋ ʔəhlǎ θaŋ -daiʔ =te.**

PSN.FEM you beautiful learn -be.able.to =RLS

「タラ姉さん、姉さんは上手に教えられますね」

(164) 0:10:06 先生 2

**cwĩ khyǎ =bɔ ná+thɔŋ!**

heart let.fall =SEQ listen

「注意して聞きなさい」

(165) 0:10:08 先生 2

[咳払い] **gəniŋ naŋ =rō =lǎ =bɔ ʔətúŋ raʔ.**

today you =PL =COM =SEQ last day

「今日、お前たちと最後の日です」

(166) 165. 0:10:13 先生 2

**ye =məgeʌ naŋ =rō cwĩ khyǎ =bɔ ná+thɔŋ!**

this =COND you =PL heart let.fall =SEQ listen

「だから、お前たちは注意して聞きなさい」

(167) 0:10:15 先生 2

**ʔəgũ ŋə =rō máŋniŋra =go pró =phǒ.**

now I =PL capital =OBJ say =FUT

「今、私たちは、首都をいしましょう」

注 *máŋniŋra* は、*máj* ‘king’、*niŋ* ‘stay’、*ʔəra* ‘place’ からなる複合語である。

(168) 0:10:20 先生 2

[咳払い] **ŋǎ nɔʔkǎ pró =bɔ lɔiʔ!**

I.OBL after say =SEQ follow

「私のあとから言ってついてきなさい」

(169) 0:10:24 先生 2

**dilli khɔŋdɔ =ma máŋniŋra.**

Delhi India =LOC capital

「デリーはインドの首都」

注 *khɔŋdɔ* はパラインサ特有のいいかたである。バンドルバン地方では *ʔiŋdiya* という。

なお、*khɔŋ* は「屋根」、*dɔ* は「大きな・偉大な」という意味であるようである。

(170) 0:10:27 生徒

**dilli khɔŋdɔ =ma máŋniŋra.**

Delhi India =LOC capital

「デリーはインドの首都」

(171) 0:10:30 先生 2

**dáká baŋgələdeθ =ma máŋniŋra.**

Dhaka Bangladesh =LOC capital

「ダカはバングラデシュの首都」

(172) 0:10:37 先生 2

**thú =ca dō yu -hwǎ!**

that =NMLS this.side take -VEN

「それをこっちにもってきな!」

注 1 *dō*は、本来は *də=dō* (this-ALL) というべきである。

注 2 *yu-hwǎ*は *yu-khǎ* (take-VEN) の変異形である。

(173) 0:10:40 先生 2

**ʔəgǔ!**

now

「今すぐ!」

(174) 0:10:45 先生 2

**jɔŋ +jaiʔ ʔəpyaʔ +yɔʔkyá mə- mraŋ -phú.**

like.this +type broken +man NEG- see -EXP

「こんなクソガキ見たことない」

(175) 0:10:48 先生 2

**krě =me naʔ =ko!**

watch =IRLS you.OBL.FEM =OBJ

「お前を見てやる!」

注 怒っているときにつかう言い方である。

(176) 0:10:50 先生 2

**ʔo, ʔo, ʔo... ʔo, ʔo, ʔo!**

ITJ

「オー、オー、オー... オー、オー、オー!」

注 ここでダンスが倒れる。

(177) 0:10:58 先生 2

**ŋǎ =go kɔiŋ!**

I.OBL =OBJ hold

「私をつかみなさい!」

(178) 0:11:00 先生 2

**ŋǎ =go thu!**

I.OBL =OBJ pull.up

「私をひっぱりなさい」

注 バングラ語版では「私を外にだして!」といている。

(179) 0:11:01 先生 2

**ʔubaba!**

ITJ

「うーん!」

(180) 0:11:02 鳥

**dilli khəŋdɔ =ma máŋniŋra.**

Delhi India =LOC capital

「デリー、インド、シュト」

(181) 0:11:04 女生徒

**ʔu, ʔəma lí =re.**

ITJ very.well be.heavy =RLS

「うーん、とても重い」

(182) 0:11:05 鳥

**dáká baŋgəladɛʃ =ma máŋniŋra.**

Dhaka Bangladesh =LOC capital

「ダカ、バングラデシュ、シュト」

(183) 0:11:08 先生 2

**ʔoʔoʔo, ŋǎ =go thu! ŋǎ =go thu!**

ITJ I.OBL =OBJ pull.up I.OBL =OBJ pull.up

「オー、私をひっぱりなさい! 私をひっぱりなさい!」

(184) 0:11:10 先生 2

**ʔě =ca hmrǎŋ! ʔě =ca hmrǎŋ!**

this =NMLS raise this =NMLS raise

「これ持ち上げなさい! これ持ち上げなさい!」

(185) 0:11:14 ミナ・ミトゥ

**ʔo, wəbwáŋ!**

ITJ bamboo.lever

「あ、ウブワイン!」

(186) 0:11:21 先生 2

**e, məməʃe, ca pyaŋ =lé?**

ITJ little.girl what do =CQ

「おい、小娘、何をする!」

(187) 0:11:22 ミナ

**təkhyə? tǎiŋ!**

one.moment stop

「少し止まって!」

(188) 0:11:23 ミナ

**ŋa =rǒ na? =ko thu =me.**

I =PL you.OBL.FEM =OBJ pull.up =IRLS

「私たちがあなたをひっぱりだします」

注 バンドルバン地方では二人称敬称として *kobaŋ* がある。しかし、パラインサにはない。したがって、普通の二人称がつかわれている。

(189) 0:11:25 ミトウ

**wəbwáŋ! wəbwáŋ! degǔ! degǔ!**

bamboo.lever bamboo.lever now now

「ウブワイン! ウブワイン! イマ! イマ!」

(190) 0:11:30 生徒

**krě, ?ě =ca pɔ =re.**

watch this =NMLS emerge =RLS

「見て、こいつ上にあがる」

(191) 0:11:32 生徒全員

**?ɔ, ?ě =ca pɔ =re.**

ITJ this =NMLS emerge =RLS

「おー、こいつ上にあがる」

(192) 0:11:34 鳥

**dilli khəŋdɔ =ma máŋniŋra.**

Delhi India =LOC capital

「デリー、インド、シュト」

(193) 0:11:35 ミナ

**?əmó, chəramă =go thu!**

quickly teacher.FEM =OBJ pull.up

「はやく、先生をもちあげて!」



(194) 0:11:40 先生 2

**?uh, rwai? =re.**

ITJ be.freed =RLS

「うー、助かった」

注 *rwai?=re* は、*rwai?=te* というほうが普通である。

(195) 0:11:43 先生 1

**bəjɔŋ hĩŋ =lé, ?əmɔi? =rǒ.**

how exist =CQ animal =PL

「どうですか、みなさん」

注 *?əmɔi?=rǒ* は、文字通りには「複数の動物」を意味するけれども、ここでは生徒たちをさしている。

(196) 0:11:44 先生 1

**ŋa lai? =bya.**

I come =PRF

「私は今もどりました」

注 声門閉鎖音のあとで=*bya* といっているのは、直前に本来は=*te* (=RLS) があったからではないかとおもわれる。あるいは、*lai?* が *lái* または *lě* くらいで発音されているという可能性もある。

(197) 0:11:45 先生 1

**naŋ =rǒ gəniŋ ca θaŋ -gai? =lé?**

you =PL today what learn -VPL =CQ

「みんなは今日何をまなびましたか?」

(198) 0:11:49 ラジュ

**ŋǒ gəniŋ wəbwáŋ θaŋ =re.**

we today bamboo.lever learn =RLS

「ぼくたちは今日ウブワインを学びました」

(199) 0:11:51 先生 1

**wəbwáŋ!**

bamboo.lever

「ウブワイン!」

(200) 0:11:52 先生 1

**bah, naŋ =rō =gá ?əkóŋ ?əkraɪŋθe.**

ITJ you =PL =TOP very effort.person

「あらまあ、みんなはすごい頑張り屋ね」

注 1 *?əkraɪŋθe* < *?əkraɪŋ* 「努力」 + *θe* 「人」であるから「頑張り屋」と訳した。なお、バングラ語版では「かしこい」といつている。

注 2 「ウブワイン」を学ぶのは本来は五年生のはずであるのに、三年生（9歳）の段階で学んだことになるのでほめている、という面もあるとおもわれる。

(201) 0:11:54 生徒

**chəramă, kolou? túŋ =bya =ló?**

teacher.FEM course.work finish =PRF =PQ

「先生、研修は終わりましたか?」

注 *kolou?* は *ko* と *lou?* 「働く」からなる複合語である。*ko* は、一般的には「自分」を意味する。しかし、ここでは、バングラ語版も参照すれば、*course* の音訳であると解すべきである。したがって「自分の仕事」ではなく「コースの仕事」となる。そこで「研修」と訳した。

(202) 0:11:57 先生 1

**?əma hlăpă pyaŋ =bō túŋ =re.**

very.well beautiful do =SEQ finish =RLS

「とてもうまく行って終わりました」

(203) 0:12:00 先生 2

**n, n, ŋa gũ ?əchúŋ bwai? =re.**

ITJ I now end shoot =RLS

「んー、んー、私は今終わりにしました」

注 *bwai?=re* は、バンドルバン地方では *bai?=te* という。

(204) 0:12:05 先生 2

**kóŋ niŋ -gai?, mɔi? =rōʌ.**

be.good stay -VPL animal =PL

「お元気で、君たち」

(205) 0:12:07 生徒全員

**chəramă =lé ?əkóŋ niŋ =li!**

teacher.FEM =too good stay =go.IMP

「先生もお元気で」

(206) 0:12:08 先生 2

**ʔəɾɔ naʔ            =ko kǐjũ taŋ =re, mina↗.**

more you.OBL.FEM =OBJ thank put =RLS PSN

「お前にもありがとう、ミナ」

(207) 0:12:10 先生 2

**ŋa gəniŋ təphě θaŋ =re.**

I today bit learn =RLS

「私は今日すこし学びました」

(208) 0:12:12 先生 2

**ŋa =lé gəniŋ ʔəlũ lũ        =phǒ lá =re.**

I =too today work(n) work(v) =PURP go =RLS

「私も今日仕事をしにいきます」

注 ʔəlũは ʔəluʔ のようにもきこえる。

(209) 0:12:15 鳥

**ʔəlouʔ, ʔəlouʔ, ʔəlouʔ, ʔəlouʔ, ʔəlouʔ, ʔəlouʔ.**

work(n) work(n) work(n) work(n) work(n) work(n)

「シゴト、シゴト、シゴト、シゴト、シゴト、シゴト」

(210) 0:12:29 ラジュ

**krě, mina, θáʔe =rǒ bəjɔŋ hlǎ        =léʔ**

watch PSN child =PL how be.beautiful =CQ

「見なよ、ミナ、こどもたちが何てかわいいんだ」

(211) 0:12:32 ミナ

**təthaiŋ            naʔ            =hŋyɔŋ =bya, mithu mamu.**

completely.same you.OBL.FEM =ESS        =PRF PN        uncle

「まったくあなたのようなね、ミトウおじさん」

注 1 =hŋyɔŋ は、バンドルバン地方では=yɔŋ または=poij/=boij という。

注 2 mamu はバンングラ語からの借用語である。

(212) 0:12:35 ミトウ

**hǎ, hahahahaha...**

yes laughter

「ハイ、ハハハハハハ」

注 hǎはバンングラ語である。

(213) 0:12:41 ラジュ

**yáŋ +θu =rǝ pyaiŋ =re.**

that +person =PL fly =RLS

「こどもたちが飛んでる」

(214) 0:12:46 ミナ

**?o, mithu, ?iθəku ŋa kəgón pyɔ =re.**

ITJ PN school I very.much be.happy =RLS

「オー、ミトゥ、学校は私にとってとても楽しい」

注 この文は、主語と述語の対応がおかしい。*?iθəku=go lá=phǝ ŋa kəgón pyɔ=re* (school=OBJ go=NMLS.FUT I very.much be.happy=RLS) あるいは *?iθəku=go ŋa kónɡón krɔi?=te* (school=OBJ I very.much love=RLS) というべきである。

(215) 0:12:50 ミトゥ

**?iθəkul, ŋa pyɔ =re.**

school I be.happy =RLS

「ガッコウ、ワタシ、タノシイ」

記号・略号一覧

/A/	A は音素表記
(A)	A は任意の要素
A B	A と B は条件変異
A < B	A は B に由来する
A > B	A は B に変化する
+	複合語境界
-	接辞境界
=	接語境界
↗	上昇調イントネーション
1, 2	人称 (それぞれ 1 人称、2 人称)
ABL (ABLative)	奪格
ALL (ALLative)	方向格
AUX (AUXiliary verb)	助動詞
CL (CLassifier)	類別詞
CMPL (CoMPLetive)	完遂
COM (COMmitative)	共同格
COND (CONDitional)	条件
CONT (CONTinuous)	継続
CQ (Content Question marker)	補足疑問標識
EMPH (EMPHatic)	強意
ESS (ESSive)	様態格
EXP (EXPeriential)	経験
FEM (FEMinine)	女性形
FUT (FUTure)	未来
HRT (HoRTative)	勧誘
IMP (IMPerative)	命令
IRLS (IRealIS)	非現実法
ITJ (InTerJection)	間投詞
LOC (LOCative)	場所格
NEG (NEGative)	否定
NMLS (NoMinaLiSer)	名詞化標識

OBJ (OBJective)	目的格
OBL (OBLique)	斜格
PL (PLural)	複数
PN (Proper Name)	固有名詞
PRF (PeRFect)	完了
PSN (PerSonal Name)	人名
PURP (PURPositive)	動作目的
RLS (ReaLis)	現実法
SG (SinGular)	単数
SEQ (SEQuential)	継起
SFP (Sentence Final Particle)	文末小辞
TOP (TOPic)	主題
VEN (VENitive)	来辞
VPL (Verbal PLural marker)	動詞複数標識

#### 参考文献

- 加藤昌彦. 1998. 『エクスプレス・ビルマ語』白水社.  
加藤昌彦. 2015. 『ニューエクスプレス・ビルマ語』白水社.  
加藤昌彦. 2018. 『ニューエクスプレスプラス・ビルマ語』白水社.  
藤原敬介. 2017. 「マルマ語会話文資料」『言語記述論集』9: 65-94. <http://id.nii.ac.jp/1422/00000912/>

(附記) 草稿段階で倉部慶太氏から有益なご意見をいただいた。本稿は科学研究費補助金（課題番号 20K00570）による研究成果の一部である。

受理日 2021 年 4 月 13 日